

# 令和6年度 小平第二みどり作業所 事業報告書

## 1 総括

令和6年度も数年来の課題である、PDCAサイクルの実施による利用者支援の充実と就労支援事業の充実、これに必要な職員の定着率向上を重点目標に掲げ事業に取り組んだ。定着率向上のために、職員のチームワーク形成（コミュニケーション強化、連携協働、事業の目的の共有等）に力を入れ、徐々にチームとしてまとまりつつあるように感じている。定着率についてはその効果を見るにはもう少し時間が必要だが、利用者支援、就労支援共に少しずつチームワーク形成の効果が出てきているように感じる。但し、支援スキル（個別支援計画の作成や評価、支援記録等）については、施設長をはじめ、事業所全体の向上が必要と感じており、引き続き学習に取り組んでいきたい。また、6年度は危機管理意識の不足という大きな課題が表面化した。5月に劣化した道具の一部がパンに混入する事故が発生した。事故防止のためのマニュアル確認等が徹底されていなかったことによるものである。即日、原因の究明と再発防止策の作成を行い、改めて事故防止について全職員で確認を行ったところである。

## 2 事業概要

- 1) 施設名 小平第二みどり作業所
- 2) 事業種別 就労継続支援B型
- 3) 所在地 東京都小平市天神町3-7-16
- 4) 経営主体 社会福祉法人未来
- 5) 利用定員 40名
- 6) 利用現員 48名（令和7年3月31日現在）
- 7) 法人認可年月日 平成14年12月11日
- 8) 事業開始年月日 平成20年4月1日
- 9) 職員 13名（令和7年3月31日現在）

管理者	1名	常勤1
サービス管理責任者	1名	常勤1
職業指導員	2名	（常勤換算2.0）
生活支援員	8名	（常勤換算5.4）
目標工賃達成指導員	1名	常勤1

## 3 基本理念

- 1) 一人ひとりの自己実現
- 2) 互いの尊厳の尊重と信頼関係の構築
- 3) 安心と希望の持てる生活

## 4 基本方針

- 1) 就労支援
  - ① 利用者の個々の特性にあった就労支援事業の活性化
  - ② 生き生きと働ける職場
  - ③ 職業指導の充実
  - ④ 賃金の保障
  - ⑤ 就労移行支援の実施
- 2) 生活支援
  - ① 日中活動の支援
  - ② 豊かな生活の支援
  - ③ 利用者一人ひとりの主体的な生活の支援
  - ④ 個別支援計画に基づいた計画的な支援
  - ⑤ 利用者への相談支援

⑥ 安心できる将来への支援

5 実施事業（活動内容）

1) 就労支援事業

- ① クッキー製造・販売
- ② パン製造・販売
- ③ 公園清掃
- ④ マンション清掃
- ⑤ 受注作業（ボーロ入れ作業等）

2) 生活支援事業

- ① レクリエーション（月1回実施）
- ② 音楽教室（月1回実施）
- ③ 旅行（年1回実施）
- ④ 生活支援プログラム（週3日実施）
- ⑤ 夕方生活支援事業（週2日実施）

3) 行事

- 4月 永年勤続表彰式
- 5月 小平市障がい者運動会
- 6月 料理（ホットケーキ作り）
- 7月 キラキラ人形劇団鑑賞
- 8月 ブリヂストーンイノベーションギャラリー見学
- 9月 川遊び
- 10月 一泊旅行（静岡県熱海方面）
- 11月 小金井公園散策
- 12月 忘年会（お菓子作り・ボウリング）
- 1月 新成人を祝う会
- 2月 ガスミュージアム見学
- 3月 防災訓練

6 日 課

開所・送迎・清掃	8:30～	9:15
朝 礼	9:15～	9:30
作 業	9:30～	10:30
休 憩	10:30～	10:45
作 業	10:45～	11:45
片付け	11:45～	12:00
昼休み	12:00～	13:00
昼 礼	13:00～	13:15
作 業	13:15～	14:15
休 憩	14:15～	14:30
作 業	14:30～	15:30
終 礼	15:30～	15:50
送 迎	15:50～	16:30
清掃・記録等	16:30～	17:00
職員打ち合わせ	17:00～	17:30

7 重点課題・目標に対する成果と課題

1) 活動

(1) PDCAサイクルの実施による利用者支援の充実。

- ①長期目標、短期目標、支援上の重点との関連付けを整理し個別支援計画を作成する。  
(計画作成、評価において、職員間の情報及び意見交換を活発に行い、計画に活かす。)

- ②支援方針、支援目標や目的を全職員で共有する。
- ③個別支援計画に基づいた統一した支援を行い、支援経過を共有するとともに丁寧に記録し、それに基づいた評価、見直しを実施する。

**【成果と課題】**

利用者についての職員間の情報共有や支援方針の統一など、チーム支援の充実に取り組んだ。職員間でコミュニケーションを密にとり徐々にチームワークが図れるようになり、支援の質も徐々に向上しているように感じる。また、やや形骸化が見られていた個別支援計画においても、ケース記録などを基にケース検討会議をおこない丁寧な評価が行われるようになってきている。しかし、スキルの不足から個別支援計画の目標設定が必ずしも適切に行えていないことも多いと感じており、施設長含め事業所全体のスキルアップが必要である。

**(2) 就労支援事業の充実**

- ①作業指導の充実や自分に合った仕事の提供により、やりがいのある仕事を通じて利用者一人ひとりが職業人として成長する。

**【成果と課題】**

利用者の希望を聞きながら、全利用者48名中42名の利用者に対し作業の幅を広げる為、複数の作業に携わるよう取り組んだ。42名全員が技能を取得し、状況に応じた臨機応変な作業体制を組むことができ、作業の効率化や利用者の作業機会の保障の充実につながっている。作業種の広がりにより多くの利用者の自信や意欲の向上につながっているように感じる。

- ②職員の担当を重層的にする（各職員が複数の業務に関わり技能等を習得する）ことで、各作業が中長期的に安定して行える体制を作る。
  - ・新規採用職員の全作業への配置。
  - ・パン及びクッキー作業担当職員の定期的な配置の交換。

**【成果と課題】**

今年度新たに採用した職員2名については、入職直後から全作業に関わった。また、その他の職員については、年度当初に各作業の配置交換の計画を立て、担当以外の作業に携わるよう取り組んだ。年度途中で職員の退職や休業等が重なり計画の3割程度の実施となったが、殆どの職員が2つ以上の作業に携われるようになり技能習得も進んだ。徐々にではあるが、職員一人ひとりが事業所全体の作業の状況を意識するようになったほか、職員の急な休み等にも配置交換によって柔軟に対応することができるようになった。

- ③パン、クッキー製造など一定の技能が必要な作業については、定期的（担当全職員月2回）な練習により職員の技能向上を図る。

**【成果と課題】**

クッキー、パン製造ともに日々の活動を通して実践的に製造練習を積み重ねているほか、製造量の少ない日などに定期的に製造練習を実施した。職員個々で差はあるものの、全般的に技術向上につながった。

- ④ ①～③の実践により工賃向上を行う。

	令和5年度実績	令和6年度目標
月額平均工賃	14,886円	14,500円

**【成果と課題】**

	令和5年度実績	令和6年度目標	令和6年度実績
月額平均工賃	14,886円	14,500円	18,359円

クッキー作業が、昨年度比で13万円減収したが、パン作業が45万円、清掃作業が30万円増収したほか、新たに緑化推進事業の作業を開始したことにより、作業収入全体では約116万円増額となった。月額平均工賃も18,359円と昨年度比で増額となり、7年度の

報酬ランクは1万5千円以上のランクに上がった。

⑤各作業における戦略と目標

ア、クッキー製造作業

- ・職員配置1日平均3名
- ・注文販売先の現状維持及びイベント販売への対応強化（製造能力向上）
- ・目標

	令和5年度実績	令和6年度目標
年間製造個数	31,200個	31,500個
年間売上	5,380,000円	5,300,000円

【成果と課題】

- ・クッキーの担当職員2名が退職、1名が休業し、後任の職員採用が計画通り進まなかったが、他の作業と調整しながら目標の1日平均3名を配置することができた。しかし、職員の製造技術や作業の効率性などのスキルが追い付かず製造個数は昨年度比で減少しそれに伴い売上も減少した。製造個数の目標達成率に比べて、売上金額の達成率の方が上回った理由としては、1個あたりの金額が高い商品の売れ行きが好調であったためである。
- ・昨年度比で、イベント販売は4件増えたが、大口の注文販売先は2件減、新規2件増の現状維持となった。

《製造個数及び年間売上》

	令和6年度目標	年間実績	目標達成率
年間製造個数	31,500個	27,991個	88.9%
売上金額	5,300,000円	5,254,733円	99.1%

	令和6年実績	令和5年度実績	前年度との差額
年間製造個数	27,991個	31,209個	△3,218個
売上金額	5,254,733円	5,383,278円	△128,545円

イ、パン製造作業

- ・職員配置1日平均3名
- ・新商品の開発（24種類）
- ・商品ロスの削減（店舗の売れ残り商品を出張販売にて販売する）
- ・目標

	令和5年度実績	令和6年度目標
年間製造個数	25,900個	27,000個
年間売上	3,790,000円	3,900,000円

【成果と課題】

- ・職員配置は1日平均3名となり、目標の3名を配置することができた。
- ・年間を通しては21品の新商品の試作を行ったうち19品を商品化し、売れ行きは好調であった。残りの2品は、コスト面を理由に商品化しなかった。
- ・商品ロスの削減については、猛暑日や雨天などの天候による来客減を見越して製造数を調整したこともあり、製造した全ての商品を廃棄することなく完売することができた。また、1つの食材を2種類のパンの製造に併用できるよう工夫し、賞味期限切れによる食材の処分も防ぐことができた。
- ・定期注文先が年度途中で3件終了となったが、新たに3件から注文があった。店舗や出張販売など年間を通し安定的に販売する機会があったほか、前述の通り利用者の製造技術が向上したこともあり製造数、売上ともに目標を上回った。

《製造個数及び年間売上》

	令和6年度目標	年間実績	目標達成率
年間製造個数	27,000個	28,147個	104.2%
年間売上	3,900,000円	4,240,580円	108.7%
	令和6年度実績	5年度実績	前年度との差額
年間製造個数	28,147個	25,912個	2,235個
年間売上	4,240,580円	3,789,417円	451,163円

⑥その他の作業を含めた収入目標

	令和6年度目標 (円)	令和5年度実績	差額
クッキー製造事業	530万	538万	△8万円
パン製造事業収入	390万	379万	11万円
清掃作業収入	165万	170万	△5万円
受注作業収入	8万	7万	1万円
その他作業等	40万	16万	24万円
合計	1,133万	1,110万	23万円

【成果と課題】

	令和6年度目標 (円)	令和6年度実績	目標達成率
クッキー製造事業収入	530万	525万	99.1%
パン製造事業収入	390万	424万	108.7%
清掃作業収入	165万	200万	121.2%
受注作業収入	8万	10万	125.0%
その他作業等	40万	67万	167.5%
合計	1,133万	1,226万	108.2%

	令和6年度実績	令和5年度実績	前年度との差額
クッキー製造事業収入	525万	538万	△13万円
パン製造事業収入	424万	379万	45万円
清掃作業収入	200万	170万	30万円
受注作業収入	10万	7万	3万円
その他作業等	67万	16万	51万円
合計	1,226万	1,110万	116万円

2) 人材育成

(1) 常勤換算12.5名(管理者、サビ管含む)の職員体制の安定確保

(2) 職員の定着率の向上

- ・目的や成果等を明確に伝え、職員一人ひとりのやりがいを引き出す。
- ・時間を有効活用し業務分担を軽減する(担当者が事前準備しミーティング時間を短縮する、作業の進捗状況を共有し時間外勤務を軽減するなど)
- ・法人内の担当施設長(2名)が週1回ミーティングに参加し、職員との意思疎通を図る。

【成果と課題】

- ・職員2名が退職、3名が入職した。3月末の常勤換算は10.4名となり目標の12.5名に2.1名不足している。
- ・司会用のマニュアルを作成し、効率的なミーティングに取り組んだ。事務連絡、予定確認の時間が短縮され、全般的にミーティング時間が短縮された。また、意見交換や検討に割ける時間が増え、職員間のコミュニケーションが活発になった。残務があった際なども自分の担当以外でも協力する職員が増えており、職員間の連携が少しずつ図れるようになっている。

- ・法人内の他の施設の施設長2名が週に1回程度ミーティングに参加し、情報共有の意義や手法の伝達、職員からの相談対応を行い、課題である職員間及び施設長と職員間のコミュニケーション強化に取り組んだ。情報共有や意思統一については改善してきているように感じる。
- ・チームワークや連携協働、目的意識の共有については、徐々に状況は改善しているが、前述のように今年度も2名の職員（勤続年数8年と4年）が退職した。引き続き職員の定着率向上に向け職員一人ひとりのやりがいを引き出せるような取り組みが必要である。

### (3) 新人職員の育成

- ・法人内の通所事業所にて研修を実施し、他事業所の事業内容や利用者支援の基本方針、職員間のコミュニケーションについて学ぶ。
- ・事業所内の全作業に携わり、利用者や活動等の把握を行う。

#### 【成果と課題】

4月に1名、6月に1名の計2名の職員採用を行い、内1名は8月に法人内の就労移行支援で実地研修を実施し、他事業所の職員間のコミュニケーション方法や利用者支援の方針等について学んだ。また、2名とも入職直後から事業所内の全作業に携わり、事業所全般を視野に入れ業務にあたる姿勢の習得に努めた（これまで自分の担当以外の業務や利用者へ関心が薄いということが課題となっていた）。利用者とも良好な関係が築けているほか、積極的に業務全体に携わる姿勢がみられている。

### (4) 職員の複数担当制による相互補完体制の強化

- ・月毎に担当以外の作業スケジュールを作成し、毎週進捗状況を確認する。

### (5) 職員間の連携強化

- ・共有事項等を正確に伝え、受けた側は明確な意思表示をする。
- ・担当以外の利用者や活動等に目を向け、常に事業所全体の業務を把握し、職員同士で声掛け等をおこなう。  
※周知のうえ、日常の現場でその都度指導、助言を行う。

### (6) 目的意識の共有

- ・施設長は業務の目的と意味、成果等を職員へ具体的に伝えるとともに、活発に意見交換を行える雰囲気づくりを行う。
- ・職員は疑問点や課題点、良い点など自分の意見を積極的に会議等で発言する。  
※職員の意見や質問を受け止め、迅速に対応する（聴いたまま放置しない）。採用できない意見に対してはなぜ採用できないのかを明確に伝える。

### (7) 利用者支援スキルの向上

- ・ケース検討会議における利用者の情報共有の際、利用者の行動のみでなく、その背景や心情について考察を行う。またそれを踏まえた支援方針について協議する。

#### 【成果と課題】

数年来、目的意識の希薄さやチームワーク軽視が施設長を含めた職員間のコミュニケーション不足、事業への無関心、モチベーションの低下などを招いていた。これにより人材の育成が進まず、利用者支援の質が向上しないという悪循環が見られていた。昨年度以降、施設長と職員のコミュニケーション強化、職員の提案や意見への迅速な対応、配置交換による事業全般の把握等に取り組み、徐々に目的意識の共有や業務の相互補完などチームワークが図られてきているように感じる。これに伴い、利用者支援においても心情理解に取り組む姿勢や支援方針の統一などで改善が見られている。但し、風土として定着するに至っておらず、また、経験の浅い職員が多いほか、前述のように施設長を含め事業所全体でのスキル不足があり、更なる取り組みが必要である。

## 3) 経営管理

### (1) 訓練等給付費の安定確保

1日平均利用者40人（50人在籍利用率80%）を目標とし、利用者の安定通所を図る。

#### 【成果と課題】

今年度新規利用者3名を受け入れ、3名が退所した結果、3月末現在利用者数は48名、1日平均利用者数は37.1人となり、目標には達しなかった(前年度38.9人)。新型コロナウイルス感染症の特例措置が終わり、月額平均工賃のランクは1ランクダウンとなったが(15,000円以上から10,000円以上)、報酬改定で人員配置の評価(5:1が新設)が拡充され、利用者一人当たりの基本単価は増額となった。前年度比で利用実績は減少したものの、訓練等給付費収入は約110万円増の7,240万円となった。

(2) 月次試算による経営状態の把握

毎月の月次試算の分析を丁寧に行い、予算執行を計画的に行う。

【成果と課題】

月次試算表をもとに毎月の経営状態を把握しており、計画的に予算が執行された。

(3) コスト削減

節電節水節約に務めコストの削減を行う。

【成果と課題】

使用していない場所の電気やエアコンの消し忘れ等については徐々に改善が図られている。また、備品購入に関しては、倉庫等の整理整頓により在庫確認を行い無駄な支出は抑えられた。

8 事故等報告

- 1) 4月 出張販売先の駐車場内に車両を駐車する際にベンチと車両左後方が接触し、ベンチの一部が破損した。怪我人等はいなかった。
- 2) 5月 パンの中に木製の箸の一部が混入する事故があった。道具の中から先端が折れた箸が見つかったことから、ピザソースを保存容器へ移し替える際の工程で使用した箸が、劣化により破損した可能性が極めて高い。また、道具のチェックは行っていたが目的意識が薄れ形骸化していたことで箸の破損に気付けなかったことを反省し、再発防止策を検討のうえ全職員に周知徹底を図った。

再発防止策

- (1) 折れる可能性のある木製の箸は使用せず金属製の箸を使用する。
  - (2) 破損の可能性があるプラスチック性の素材などの道具をステンレス製にするなどの他、様々なリスクを想定し道具の精査を行い交換する。
  - (3) 現在の事故防止マニュアルの内容を精査し、具体的な実施方法等が明確となるよう改訂する。完成したマニュアルを全職員で共有し、最低半期に1回は見直しを行う。
  - (4) 新規採用の職員は、必ず先輩職員と一緒に事故防止マニュアルの読み合わせや事故防止のための留意点等の確認を行ってから製造作業に携わる。
- 3) 7月 法人内事業所の駐車場で車両を旋回した際に近隣の民家のブロック塀の前に置いてあったブロックに車両右後方が接触したが、ブロックに損傷はなく、怪我人もいなかった。
  - 4) 9月 利用者送迎中、駐車場から出て右折しようとして車両を発進させた際に車両の内側にあったブロック塀と車両右側ボディが接触し、ブロック塀の一部が破損した。怪我人等はいなかった。
  - 5) 2月 利用者送迎中、対向車をよけてバックする際に車両右後方が電信柱に接触した。怪我人はいなかった。

9 開所状況

- 1) 開所期間 自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日
- 2) 開所日数 (1) 週開所日数 5日間  
(2) 開所時間 午前9時～午後4時

(3) 年間延開所日数 243日間 (前年度 243日間)

(4) 平均活動時間 7時間

#### 10 利用状況

- |             |        |              |
|-------------|--------|--------------|
| 1) 利用者延人員   | 9,023人 | (前年度 9,455人) |
| 2) 1日平均利用人員 | 37.1人  | (前年度 38.9人)  |
| 3) 体験実習者延人員 | 43人    | (前年度 44人)    |
| 4) 1日平均実習人員 | 0.18人  | (前年度 0.18人)  |
| 5) 実習者実人員   | 12人    | (前年度 17人)    |

#### 11 利用者状況 (令和7年3月31日現在)

##### 1) 年齢

- |            |     |
|------------|-----|
| 20歳未満      | 0名  |
| 20歳以上30歳未満 | 17名 |
| 30歳以上40歳未満 | 8名  |
| 40歳以上50歳未満 | 11名 |
| 50歳以上60歳未満 | 11名 |
| 60歳以上70歳未満 | 1名  |
| 70歳以上      | 0名  |

##### 2) 障害の状況

- |          |     |                    |
|----------|-----|--------------------|
| 愛の手帳     | 44名 | (内身障手帳5名、精神保健手帳1名) |
| 身体障害者手帳  | 6名  | (内愛の手帳5名)          |
| 精神保健福祉手帳 | 3名  | (内愛の手帳1名)          |
| 手帳不所持    | 1名  |                    |

##### 3) 通所手段

- |        |     |                        |
|--------|-----|------------------------|
| 送迎車利用  | 22名 | (内2名家族送迎、4名交通機関、徒歩等4名) |
| 交通機関利用 | 12名 | (内4名送迎)                |
| 徒歩等    | 19名 | (内4名送迎)                |
| 家族送迎   | 6名  | (内2名送迎)                |

- |         |      |     |      |     |
|---------|------|-----|------|-----|
| 4) 居住状況 | 管内居住 | 36名 | 管外居住 | 12名 |
| 5) 性別   | 男性   | 27名 | 女性   | 21名 |

#### 12 生活支援PG実施状況

##### 1) 実施日数

- |             |      |
|-------------|------|
| (1) PG実施日数  | 140日 |
| (2) 週平均実施日数 | 3日   |

##### 2) 利用者 (令和7年3月31日現在)

- |            |      |
|------------|------|
| (1) 利用者数   | 2人   |
| (2) 利用者延人数 | 199人 |

##### 3) 支援者 (令和7年3月31日現在)

- |                   |      |
|-------------------|------|
| (1) 職員            | 2人   |
| (2) ボランティアスタッフ    | 5人   |
| (3) 職員延人数         | 2人   |
| (4) ボランティアスタッフ延人数 | 202人 |

##### 4) 内容

- |            |      |
|------------|------|
| (1) ウォーキング | 140回 |
|------------|------|

#### 13 夕方生活支援事業実施状況

- |           |      |
|-----------|------|
| (1) 参加者   | 14名  |
| (2) 延参加人数 | 301名 |



(3) 延実施回数：99回

(4) 月別実施状況

実施月	実施回数	延参加人数
4月	8回	26人
5月	8回	26人
6月	8回	22人
7月	8回	22人
8月	9回	25人
9月	8回	27人
10月	8回	23人
11月	9回	24人
12月	9回	30人
1月	8回	25人
2月	8回	26人
3月	6回	25人
合計	99回	301人

(5) 内容別実施及び参加状況

内容	実施回数	延参加人数
ボウリング	36回	147人
DVD鑑賞	12回	22人
ドライブ	14回	45人
料理	6回	23人
テーブルゲーム	12回	39人
ヘアカット	12回	13人
さんぽ	6回	9人
すいか割り	1回	3人
合計	99回	301人

#### 1.4 環境の整備

定期的に室内や建物周辺の清掃を実施し、年間を通して清潔な環境を保つことができた。

#### 1.5 防災

災害時避難訓練（自衛消防訓練）および小平手をつなぐ親の会が主催する防災訓練と合わせて年3回実施した。